

# 心のノート

No. 5 2021年(令和3年)6月16日(水)



6月9日(水)の道徳は、『自分の性格が大嫌い!』という教材をもとに学習しました。『自分の性格が大嫌い!』というインパクトのあるタイトルは中村うさぎ氏の辛口エッセイのものです。どうしても人間は、他人と比較して自分の劣等感や性格に思い悩むことも少なくありません。作者の「おこりっぼい」短所の捉え方や人間の持っている「短所と長所」は裏表であり自分の「短所と長所」の両方を公平に見つめることで人生がより楽しくなるということは目からうろこですね。自分との向き合い方を考える習慣を身に付けることが大切ではないでしょうか。

## 【生徒の学んだこと、印象に残ったこと、考えたこと、感想より】

- \*自分の性格は直せないと思っていたけれどがんばって自分のダメなところを認めてなおそうと努力したらいいと思いました。人は性格はすぐになおせないけど頑張ればなおせるのが性格です。
- \*僕はワークシートにあった「自分との付き合い方を変えるとなぜ人生が楽しくなるのだろう?」についてこう思いました。短所ばかり見て生きていたら人生が「苦」になる。でも新しい付き合い方をすると、短所も悪いことばかりじゃないと思い人生がたのしくなるんじゃないかなあと思います。
- \*自分の好きなどころ嫌などころを考えてみて嫌いなどころの方が多かったです。でも嫌いなどころも頑張って好きになりたいと思いました。
- \*短所、欠点はどうするべきかということを考えました。最初は短所や欠点は変えたり、直すことができると思っていたけど文を読んでいくと「短所は変えられるものもあるが、自分に染みついているものは変えられない」ということと「違う見方をすると短所も長所になる」ということが分かりました。これからは短所でうじうじ悩まず、違う見方をして長所を見つけようと思います。
- \*今日は自分との向き合い方について考えました。自分の長所や短所について考えて色々な共感がありました。自分の短所を長所に変えてみて嫌だった

短所もいいかも！って思うようになりました。これからも自分との向き合い方を考えてみようと思います。

\*短所（欠点）について深く考えたり、言い返したりして短所を少しでも長所の方向に言い換えてみたりしました。自分の短所について考えることは大切だなと思うようになりました。

\*私は「人との話しが盛り上がらない」のが短所ですが、長所に言い換えると「聞き上手」なのでいいように感じました。人には長所と短所とがありますが短所を受け入れ、短所について考えたり、長所に言い換えたり短所と向き合ったりしたほうがいいのかと思いました。

\*欠点は誰にでもあるものだから不安にならなくていいと思いました。欠点をどうこうではなくて、自分の「良いところ」を見つけるとこれからの人生がとても楽しくなると僕は思います。

\*私は作者と同じ「怒りっぽい」性格なのです。友達の前ではその性格をなるべく出さないようにしているつもりですが、きっと友達にはこの性格を知られています。この性格を変えたいと思っているのですがマイナスの方ばかりにとらえるのでとらえるのではなくプラスに捉えていきたいと思います。

\*私の欠点はせっかちなところです。たまに、自分の事ばかり考えてしまい、待ち合わせのときも全然待つことができません。しかしその反対に時間配分を考え、無駄なく行動できます。このように短所は誰でもあることです。それを嫌と思わず向き合うことが大切だと思います。

\*長所も短所も自分の1つの性格だということがわかりました。長所と短所は裏表のもの、自分を認めると人生が楽になると筆者が言っていました。私は、自分を認めるということは自分の長所と短所を受け入れて「自分らしさ」を大切にすることではないかなと思いました。筆者のように「自分らしさ」を大切にしたいです。